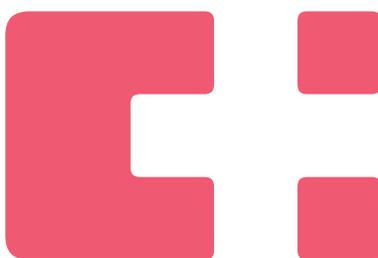


会社案内



**ココカラファイン**

ココロ、カラダ、ゲンキ。

# ココロとカラダを元気にする ヘルスケアグループを目指して 「おもてなし」を追求していきます。



代表取締役社長  
塚本 厚志

1995年の阪神・淡路大震災、2008年のリーマン・ショック、そして2011年の東日本大震災。近年、さまざまな災害や経済危機に見舞われた我が国では、既存の経済至上主義から脱却した温もりのある新しい社会像が求められています。また、65歳以上の高齢者人口が3,000万人を超える超高齢社会の中で、医薬分業・面分業・保険介護など、さまざまな制度改革がおこなわれ、病気の予防や軽医療、健康維持に重点を置くセルフメディケーション時代への本格移行が進んでおります。

そのような状況下で、私たちココカラファインは2013年4月、ドラッグストア・調剤薬局を展開する6社の販売子会社(セイジョー・セガミメディクス・ジップドラッグ・ライフォート・スズラン薬局・メディカルインデックス)を統合し、(株)ココカラファインヘルスケアを立ち上げました。この新たな体制により、私たちは更なる「おもてなし」を追求し、そして、お客様・患者様にとってより身近で重要な役割を果たす新しい医療拠点としての存在意義を高め、ココロとカラダを元気にする「ライフスタイル提案ストア」を構築してまいります。

ココカラファインは今後も、経営理念「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」のもと、ドラッグストア事業、調剤事業、介護事業、インターネット販売などを連携させた「地域におけるヘルスケアネットワークの構築」や、「社会に必要とされる優れた人財の育成」を当社の社会的使命(ミッション)として推進してまいります。

## 経営理念

人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する

## コーポレートスローガン

「おもてなしNo.1」になる

## ミッション(社会的使命)

地域におけるヘルスケアネットワークを構築する  
社会に必要とされる優れた人財を育成する



### ブランドの由来

「皆さまのココロとカラダをゲンキにしたい」この想いからココカラファインというブランドが誕生しました。また、英文のCOCOKARAの「COCO」には、様々なステークホルダーの方々と「ともに(Co-Work)」新しいことに挑戦し、「ここから始まる」という意味も含んでいます。

### ロゴマークについて

「いきいきとした」「親しみのある」「心地よい」の3つを基本に、ブランドロゴデザインを開発しました。心地よい安心感を与えるブランドカラー「Cコーラル」で表現されたシンボルマーク「Cコロ」は、ブランドの頭文字の「C」と、「すなわち」をあらわす「:(コロ)」の組み合わせで構成。また、「C」と「:」の間に見える白十字は、医薬品を取り扱う企業として、お客様に約束する安心・安全・信頼を表しています。



# 人々のココロとカラダの健康を追求し 地域社会に貢献するために

ココカラファインは  
人々のココロとカラダの健康を追求する企業として、  
地域におけるヘルスケアネットワークを構築するとともに、  
求められるニーズに応えうる優れた人財を育成し、  
地域社会に貢献していきます。

Mission  
地域におけるヘルスケア

## ドラッグストア事業

お客様のニーズを踏まえて選定した商品や自主企画商品をはじめ、健康と暮らしに欠かせない多彩な商品を取り扱っています。また、専門知識を活かしたカウンセリングや提案はもちろん、ヘルス&ビューティケアに関するお悩みやご相談にお答えする健康相談会の開催、管理栄養士による健康に役立つレシピの配布なども積極的に行っています。

## ドラッグストア事業



Mission  
社会に必要とされる

## 介護事業

## 介護事業

多様化する介護ニーズに応え、ドラッグストア事業や調剤事業と連携したサービスの実施や、社会的ニーズの高まりを受けて開始したサービス付き高齢者向け住宅の運営など、事業領域を順次拡大させています。



各事業のそれぞれの分野  
ゼネラリストを  
社会に必要とされる優れた

## EC事業

店舗運営で蓄積した顧客ニーズを踏まえた品揃えや会員カードのポイント共通化など、ドラッグストア事業と連携することで、買い物の利便性を高めています。

## EC事業





## アネットワークを構築

### 調剤事業



ドラッグストア業界において調剤事業に先駆けて着手し、現在No.1の実績を誇る調剤力を多くの方のお役にたてるよう、ドラッグストアとの併設店や在宅調剤の推進などを積極的に進めています。

### 調剤事業



## 優れた人財を育成



### 製品企画開発事業



ドラッグストアの現場で直に触れるお客様の悩みや要望から生まれた「VIVCO」など、今までにはなかったお客様ニーズを満たす製品を自主企画・開発しています。

### 製品企画開発事業

におけるスペシャリスト、育成することで、人財を育成していきます。

### 海外事業



### 海外事業



市場拡大が見込まれる東アジア市場を中心に、100%出資の現地法人による店舗運営や現地企業への出資により進出。日本で積み上げた“おもてなし”を世界のドラッグストアで展開しています。



## ドラッグストア事業・調剤事業

専門性を活かした接客販売とドラッグストア業界No.1の調剤力を人々のココロとカラダの健康を追求したサービスを提供しています

### 業界トップクラスの店舗数で 全国にヘルスケアサービスを提供する ドラッグストア事業

ココカラファインヘルスケアは、長い歴史と豊富な実績を持ち、各地で地域に根ざしてきたドラッグストアチェーン6社を統合し、2013年4月に誕生いたしました。グループのコア事業であるドラッグストアと調剤薬局を通じて、地域にヘルスケアサービスを提供しています。

ドラッグストア事業では、日本全国に1,200店以上の店舗を擁し、多様なフォーマットを有しているのが特徴で、それぞれが出店エリアや立地、顧客層に応じた店舗スタイルで展開しています。一般的な価格志向のドラッグストアとは一線を画し、豊富な専門知識とカウンセリングによる接客販売に重点を置いた、付加価値の高いサービスを提供しています。



“おもてなしNo.1”を目指して

1

### 「おもてなし戦略部」を設置

#### ■ お客様の声をより活かすために

全国各地の店舗では、日々多くのお客様から声が寄せられ、また店舗スタッフによる工夫を凝らした接客に高い評価をいただいています。いただいた声をもとに各店舗で改善するとともに、そのような好事例を集約し、他店舗での接客に活かす取り組みを一層強化する「おもてなし戦略部」を設置しています。

お客様の声から生まれた、お薬がすぐ飲める「ウォーターサーバ」の設置など、各地へ展開した事例は順次生まれてきており、このような取り組みを進めることで、“おもてなしNo.1”店舗を全国で目指していきます。



お客様の声で  
設置された  
ウォーターサーバ

#### ■ お客様をもっとよく理解するために

販売会社ごとに発行していた会員カードを2013年4月から「ココカラクラブカード」として統合し、併せて会員サイト「ココカラクラブ」を開設しました。会員サイトでは健康に関する情報やサービスを定期的に発信し、お客様をサポートしていきます。また統合によって750万人を超える会員数となった会員カードでは、蓄積された膨大な購買データから、お客様ニーズを分析し、商品開発や店舗運営、販売促進に反映させていきます。



新たに統合された  
「ココカラクラブカード」



(株)ココカラファイン ヘルスケア



活かして、  
す。

## ドラッグストア業界No.1の実績を誇る調剤力で「かかりつけ薬局」を目指す 調剤事業

ココカラファイングループは、ドラッグストア業界に先駆けて調剤事業に参入し、安全・確実な調剤サービスを提供してきました。その蓄積によって、調剤報酬額、調剤事業売上比率、月間1,000枚以上処方箋応需店舗数など、全てにおいてドラッグストア業界No.1の実績を誇っています。

ドラッグストア事業と調剤事業のシナジーを図りながら、ドラッグストアに調剤薬局を併設した「ドラッグ&調剤」の新店や医療モールへの新店を積極化。多くのお客様・患者様に付加価値の高いサービスを提供できる、地域の皆様の「かかりつけ薬局」を目指し、事業を展開しています。



### ドラッグストア業界ランキング\*

調剤報酬額 <b>第1位</b>	調剤事業売上比率 (介護・卸事業を除く) <b>第1位</b>	月間1,000枚以上 処方箋応需店舗数 <b>第1位</b>
---------------------	---------------------------------------	--------------------------------------

\*ドラッグマガジン2012年7月号を参考

“おもてなしNo.1”を目指して

2

## 「ドラッグ&調剤」店舗の出店強化

### ■ より多くの人に利用していただくために

ご来店いただきやすい立地に出店したドラッグストア内に調剤薬局を併設した「ドラッグ&調剤」店舗の出店を強化しています。

ドラッグストアへの買い物ついでに気軽にご利用いただけるよう利便性を追求。薬剤師がドラッグストアで接客を行い、専門知識を活かしてお客様の症状や体質に合わせた一般用医薬品(OTC)の選定や健康相談などにも対応しています。



ドラッグストア内に調剤薬局を併設した「ドラッグ&調剤」店舗

“おもてなしNo.1”を目指して

3

## 在宅調剤を推進

### ■ 質の高い在宅医療を実現するために

訪問看護や施設介護の需要拡大と同様に、自宅もしくは施設で療養されている患者様からの調剤ニーズも増えています。そこで地域の病院やクリニックと連携し、患者様の自宅や施設にお薬を届ける在宅調剤を推進しています。



在宅療養中の患者様に適切な服薬管理・指導を行う在宅調剤

それも単にお薬を届けるのではなく、薬剤師ならではの服薬管理・指導を徹底し、在宅療養を希望する患者様のQOL(Quality of Life)向上につながる“おもてなし”をお届けするよう努めています。



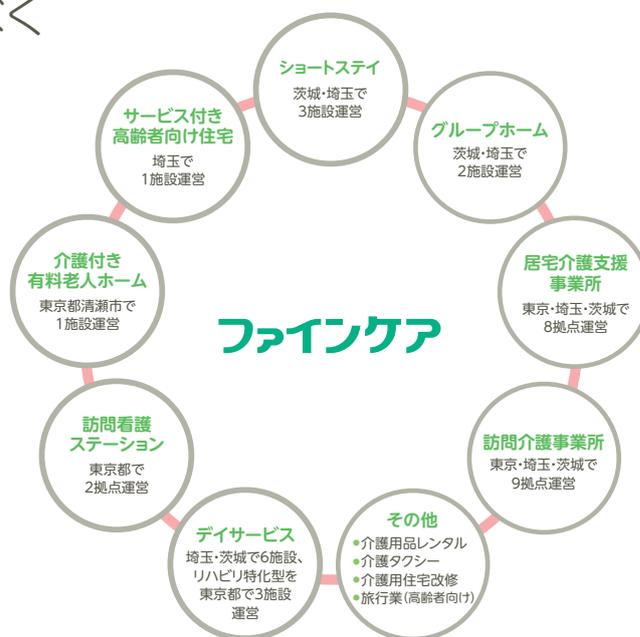
## 介護事業

(株) ファインケア

多様化する介護ニーズに応えるべく  
豊富なサービスメニューを  
提供しています。

2006年から展開してきた当社グループの介護事業をファインケアが担い、地域社会のライフサポート事業として推進しています。社会的ニーズの高まりを受け、訪問介護をはじめとした介護分野のサービスメニューを拡充。2013年3月からは、サービス付き高齢者向け住宅の運営もスタートさせました。

コア事業であるドラッグストア・調剤事業との連携を推進することで、運営する介護施設に薬剤師が訪問して服薬管理をしたり、管理栄養士による栄養バランスの取れた介護食を提供したりするなど、当社グループの特徴的なサービスを充実させていきます。



## EC事業

(株) ココカラファインOEC

利便性を追求し、  
品揃え豊富なネットショップを展開しています。

多様化するお客様の購買ニーズに対応するとともに、十分な広さがない店舗の品揃えを補完し、また来店が難しいお客様にもお買い物を楽しんでいただけるようネットショップ「ココカラファイン.ネット」を運営しています。実店舗運営で蓄積したお客様ニーズを踏まえ、約2万アイテムもの品揃えで展開するインターネット通販です。

パソコンはもちろん、スマートフォンやタブレット型端末など、端末機器の変化にも対応し、利便性の向上を図っています。会員カードのポイントを実店舗と共通化させ、相補的な販売促進を展開するなど、ドラッグストア事業とのシナジー創出も目指しています。



スマートフォンやタブレット型端末からお買い物を楽しめる  
ネットショップ「ココカラファイン.ネット」



## 製品企画開発事業

(株)ココカラファイン ネクスト

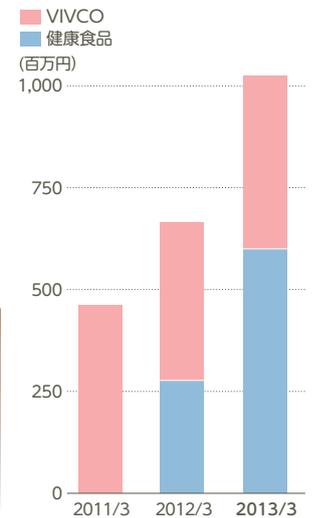
お客様ニーズを満たす付加価値の高い  
自社企画商品を開発しています。

店頭に寄せられたお客様の声や日々の購買データを活かした自主企画商品を開発しています。開発した商品は高い販売力を擁するココカラファインのドラッグストアで販売するのに加え、他社店舗を通じた販売も展開しています。

肌への浸透力を高める特許技術を持つ九州大学と当社神戸研究所が、産学連携で技術開発を行い、商品化した化粧品「VIVCO」など、店頭で伺ったお客様の悩みをもとに開発したヒット商品も数々誕生しています。このように、お客様の悩みやニーズに直結した商品開発を強化することで、他のドラッグストアとの差別化を図っていきます。



自主企画商品の売上高推移



## 海外事業

可開嘉来(上海)商貿有限公司

日本で積み上げたおもてなしを  
世界のドラッグストアで展開しています。

海外、特に中国をはじめとする東アジアでは、近年、人口増加と経済成長を背景に、ドラッグストア市場が拡大しつつあり、すでに中国では、日本のドラッグストア業界では初となる100%出資の現地法人による店舗展開をスタートさせています。またロシア、タイでの卸事業やベトナムでの現地企業との店舗運営を通じて、経験やノウハウを蓄積。将来の事業展開に向けた布石を打っています。

アジアにおいても日本と同様の“おもてなし”を提供することで、ドラッグストア業界の「おもてなしNo.1」を目指します。



ココカラファインは経営理念「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」のもと、その活動を通じて地域社会から信頼いただくために、人々のココロとカラダの健康に資する取り組みを様々な場面で展開しています。

社会貢献

医療スタッフが不足する  
東日本大震災の被災地に薬剤師を派遣

2011年3月の東日本大震災では、幸い難を逃れた人も日常服用しているお薬を持たないまま避難された方が多く、またその症状を伺う医療スタッフも不足していました。ココカラファインはすぐに薬剤師を派遣しましたが、もちろん現場には処方箋もなく、患者様の記憶と問診が頼りの状況。持参したお薬も種類は限られていました。そのようななかでココカラファインの薬剤師は、培ってきた知識を活かし、現場の医師、看護師と連携しながら、患者様に最適なケアを行いました。

被災地に赴いた薬剤師たちは、この時の経験を通して薬剤師としての職能・職域の広がりやチーム医療の一員としての存在感を実感したと言います。ココカラファインは、このように薬剤師の知見を活かせる機会があれば、積極的に参加し、地域社会の皆様のお役にたてるよう活動していきます。



社会貢献

災害に備えた地域連携として  
各市町村と協定を締結

ココカラファインは2012年12月、静岡県熱海市との間に、「災害時における生活物資等の供給等支援に関する協定」を締結しました。この協定は、熱海市が設置する災害対策本部の要請に応じ、地域のライ



フラインとして同市内の店舗から緊急対策物資を供給するとともに、本社からもできる限り支援するものです。

また、同様の協定を静岡県伊豆市ほか伊豆半島をはじめ、長崎県西彼杵郡長与町でも締結しており、今後は他の地域にも広げていく予定です。

社会貢献

子どもたちが将来や社会について考える  
職業体験型施設を「キッズニア甲子園」に出展

ココカラファインは2013年7月、子どもたちが自分の将来や社会における役割を考える場を提供している職業・社会体験型施設「キッズニア」のオフィシャルスポンサーとして、ドラッグストアのパビリオンを出展。ここでは、ドラッグストア内の調剤薬局で働く「薬剤師の仕事」と、日々の健康維持などに携わる商品のデザインをする「オリジナル商品を作る」という2種類の体験をすることができます。

この仕事体験を通して、ドラッグストアがお客様・患者様のココロとカラダを元気にする医療拠点であることを理解してもらおうと同時に、医療を身近に感じ、セルフメディケーションの大切さを学ぶ場となることを期待しています。



環境

環境負荷低減に向けて  
全店舗で照明設備のLED化を決定

ココカラファインは、環境負荷の低減、節電の取り組みとして、店舗での省エネ設備の導入などに取り組んできました。その一環として、新規出店する店舗やリニューアルする店舗でLED照明の導入を進めてきましたが、これをグループ全店舗に展開することを2012年3月に決定しました。

店舗照明をLEDにすることで、照明電力使用量は従来比で約51%削減できます。今後もより環境負荷を低減させた店舗の開発を進めていきます。

※LEDを導入した店舗のうち、2010年10月時点で、営業している店舗での比較。

照明電力使用量の推移



社会貢献

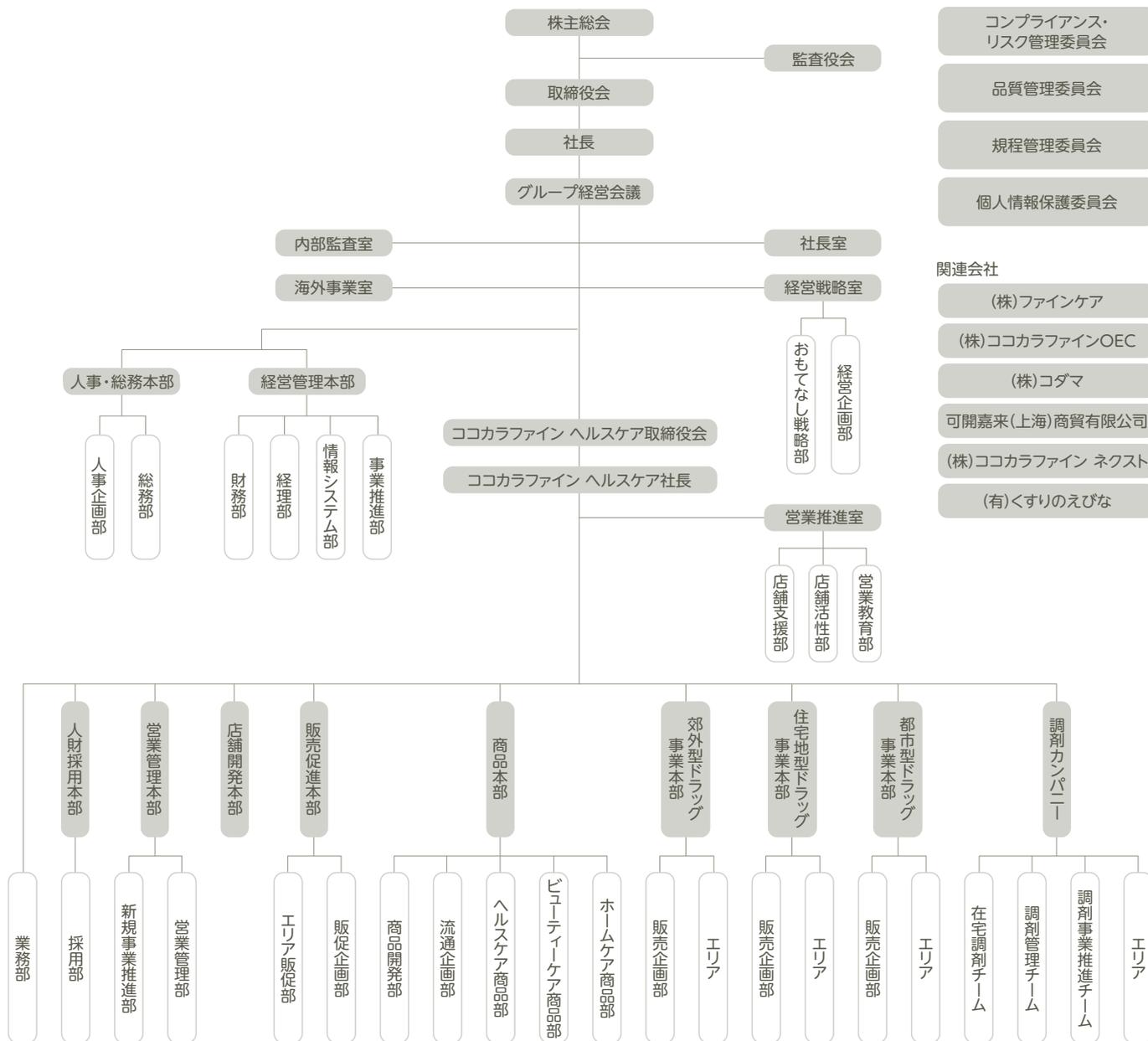
多様な方が参加される「世田谷マラソン」で  
薬剤師と管理栄養士による健康相談会を実施

ココカラファインは地域貢献の一環として協賛する「世田谷246ハーフマラソン」において、健康相談ブースを出展しています。薬剤師だけでなく、管理栄養士も参加し、出場者や応援・見学に来られた方々からのご相談に応じるとともに、カウンセリングも実施。ブース前には行列ができるほど来場者が増えています。

ココカラファインでは、このような地域のイベントなどでお受けした質問や相談を、店舗でも活かし、より良い“おもてなし”の提供に努めていきます。

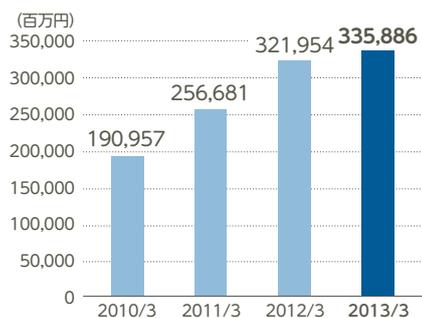


## 組織図 (2013年6月27日現在)

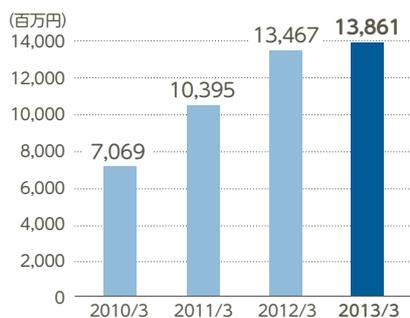


## 業績

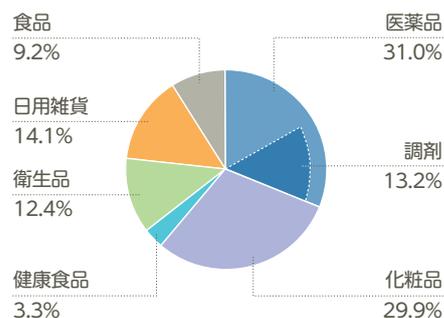
### 売上高



### 経常利益



### 品目別売上構成比 (2013年3月期)



(注) 四捨五入の関係上、割合の合計は100%にはなりません

## 会社概要 (2013年6月27日現在)

<p><b>名称</b> 株式会社ココカラファイン cocokara fine Inc.</p> <p><b>本社所在地</b> 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル Tel. 045-548-5929</p> <p><b>代表者</b> 代表取締役社長 塚本 厚志</p> <p><b>設立日</b> 2008年4月1日</p> <p><b>資本金</b> 10億円</p> <p><b>決算日</b> 3月31日</p> <p><b>事業内容</b> ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに付随する業務</p> <p><b>取締役及び監査役</b></p> <table border="0"> <tr> <td>取締役会長</td> <td>久松 正志</td> </tr> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>塚本 厚志</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長 兼 経営戦略室長</td> <td>石橋 一郎</td> </tr> <tr> <td>取締役常務執行役員 [ココカラファインヘルスケア 代表取締役社長]</td> <td>橋爪 薫</td> </tr> <tr> <td>取締役常務執行役員 [グループ経営管理統括]</td> <td>上原 俊二</td> </tr> <tr> <td>取締役常務執行役員 兼 海外事業室長</td> <td>濱野 和夫</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>北山 真</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>古松 泰造</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>齊藤 正人</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>亀沖 正典</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>大谷 泰弘</td> </tr> </table>	取締役会長	久松 正志	代表取締役社長	塚本 厚志	取締役副社長 兼 経営戦略室長	石橋 一郎	取締役常務執行役員 [ココカラファインヘルスケア 代表取締役社長]	橋爪 薫	取締役常務執行役員 [グループ経営管理統括]	上原 俊二	取締役常務執行役員 兼 海外事業室長	濱野 和夫	取締役(社外)	北山 真	常勤監査役	古松 泰造	監査役	齊藤 正人	監査役(社外)	亀沖 正典	監査役(社外)	大谷 泰弘	<p><b>グループ会社</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式会社ココカラファイン ヘルスケア 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル Tel. 045-548-5996</li> <li>● 株式会社ファインケア 〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵2-2-1 デイリーケアセイジヨー南浦和西口店2階 Tel. 048-710-6750</li> <li>● 株式会社ココカラファインOEC 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル Tel. 045-548-5437</li> <li>● 株式会社コグマ 〒950-1111 新潟県新潟市西区大野町3269番地 Tel. 025-377-2724</li> <li>● 可開嘉来(上海)商貿有限公司 上海市漕溪北路398号 匯智大廈203号 Tel. 86-21-3363-4789</li> <li>● 株式会社ココカラファイン ネット 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル Tel. 045-548-5921</li> <li>● 有限会社くすりのえびな 〒069-1511 北海道夕張郡栗山町中央2丁目116番地</li> </ul>
取締役会長	久松 正志																						
代表取締役社長	塚本 厚志																						
取締役副社長 兼 経営戦略室長	石橋 一郎																						
取締役常務執行役員 [ココカラファインヘルスケア 代表取締役社長]	橋爪 薫																						
取締役常務執行役員 [グループ経営管理統括]	上原 俊二																						
取締役常務執行役員 兼 海外事業室長	濱野 和夫																						
取締役(社外)	北山 真																						
常勤監査役	古松 泰造																						
監査役	齊藤 正人																						
監査役(社外)	亀沖 正典																						
監査役(社外)	大谷 泰弘																						

## 沿革

- 2008年04月** セガミメディクス株式会社と株式会社セイジヨーが経営統合し、株式移転により株式会社ココカラファイン ホールディングスを設立。
- 2010年10月** 株式会社アライドハーツ・ホールディングスと合併し、株式会社ココカラファインへ商号変更。本社を神奈川県横浜市へ移転。
- 2011年10月** 北海道エリアでドラッグストア・調剤事業を展開する株式会社スズラン薬局の全株式を取得、子会社化。
- 2012年04月** 介護事業を営む孫会社タカラケア株式会社を株式会社ファインケアに商号変更し、子会社としてグループの介護事業を集約。
- 2012年11月** 新潟県を中心とする甲信越・東北エリアでドラッグストア・調剤事業を展開する株式会社コグマの全株式を取得、子会社化。
- 2013年04月** 子会社のセイジヨー、セガミメディクス、ジップドラッグ、ライフオート、スズラン薬局、メディカルインデックスの6社が合併し、「株式会社ココカラファイン ヘルスケア」が誕生。

## 拠点マップ (2013年5月31日現在)

